



Monthly Wacco

発行 ● 粕江市市民協働課
〒201-8585 粕江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 **k-press**
〒201-0012 粕江市中和泉 3-2-16
プランツベルツ 201
☎ 3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net
Homepage=http://www.k-press.net/

2006
平成18年

10

こまえわが町

中和泉

長い歴史を伝える史跡



街に点在する屋敷林や畑



玉川碑の周囲を清掃するボランティア

1 兜塚・経塚

中和泉には5世紀から6世紀にかけて造られた古墳が残っている。

伊豆美神社東南の**兜塚古墳**(3-23)は6世紀中ごろの大型の円墳。調査によって、直径38mの墳丘の周りに幅11mの溝がめぐらされていたことがわかった。保存状態

が良く、都の史跡に指定されている。

東西をマンションに挟まれた木立が**経塚古墳**(1-22)で、5世紀後半の大型の円墳と推定されている。元は泉龍寺の境内にあたり、後の時代に経文を埋める塚として使われたと



マンションに挟まれた経塚

いう伝承があり、この名が付いたという。



雪に覆われた兜塚

このほか民有地には、駄倉塚古墳(1丁目)、白井塚古墳(3丁目)、東塚古墳(1丁目)などの円墳が残っている。駄倉塚で

昭和55(1980)年に住居表示によってできた中和泉は、商店街、住宅地、農地、工場などが混在する多様な顔を持った地域。

河岸段丘の上にあるため、多摩川の洪水時にも比較的安全で、古くから人々が暮らしを営んできたことが、多くの古墳が造られ、いまでも多く見られるヒノキなどの屋敷林などからうかがえる。

中和泉は畑だけで水田がなく、稲作は多摩川の近くなどにあった田んぼへ出かけて行っていた。かつては竹林が多く、タケノコは都心に出荷され、味の良さで評判をよんだという。

兜塚、経塚などの古墳や伊豆美神社、玉川碑など見どころも多い。中央部を東西に貫く品川道は、かつていかに乗りたちが上流へ帰る道として利用した。

は、明治30~40年代に、この松の木のでっぺんにその日の天気を知らせる旗が若い女性によって掲げられ、村人の評判になったというエピソードがある。

い女性によって掲げられ、村人の評判になったというエピソードがある。

2 玉翠園跡

バス停水神前近くの六郷さくら通り沿いにある木立と石垣は**玉翠園**(4-15)の名残。かつては信号の辺りが六郷用水の取り入れ口で、近くには屋形船がつかわれていた。

明治39(1906)年に地元井上三郎が約6,600㎡の土地を買収して井上公園を造り、多摩川と富士、丹沢を望む景勝地として多くの人々が訪れた。大正2(1913)年、園内に川魚料理専門の料亭玉翠亭が開業、民俗学者



玉翠園の石垣

折川信夫も訪れるなど、アユやコイなど多摩川の川魚料理と船遊びを楽しむ多くの人でにぎわった。公園も玉翠園と呼ばれるようになったが、戦争の悪化で昭和18(1943)年に廃業、土地などは都に売却された。



伊豆美神社拜殿

3 伊豆美神社

伊豆美神社(3-21-8)は寛平元(889)年に、現在のあいとびあセンターの辺りに創建されたと伝えられ、多摩川洪水で被災し、天文21(1552)年に現在地に移ったといわれる。元の名を「六所宮」といい、大国魂大神などをまつ。明治初めに現在の名称に改められた。

江戸時代には土地の人々だけでなく、井伊、石谷、松下などの領主の尊敬を集めた。参道入り口の鳥居は、江戸時代には石谷貞清が奉納され、

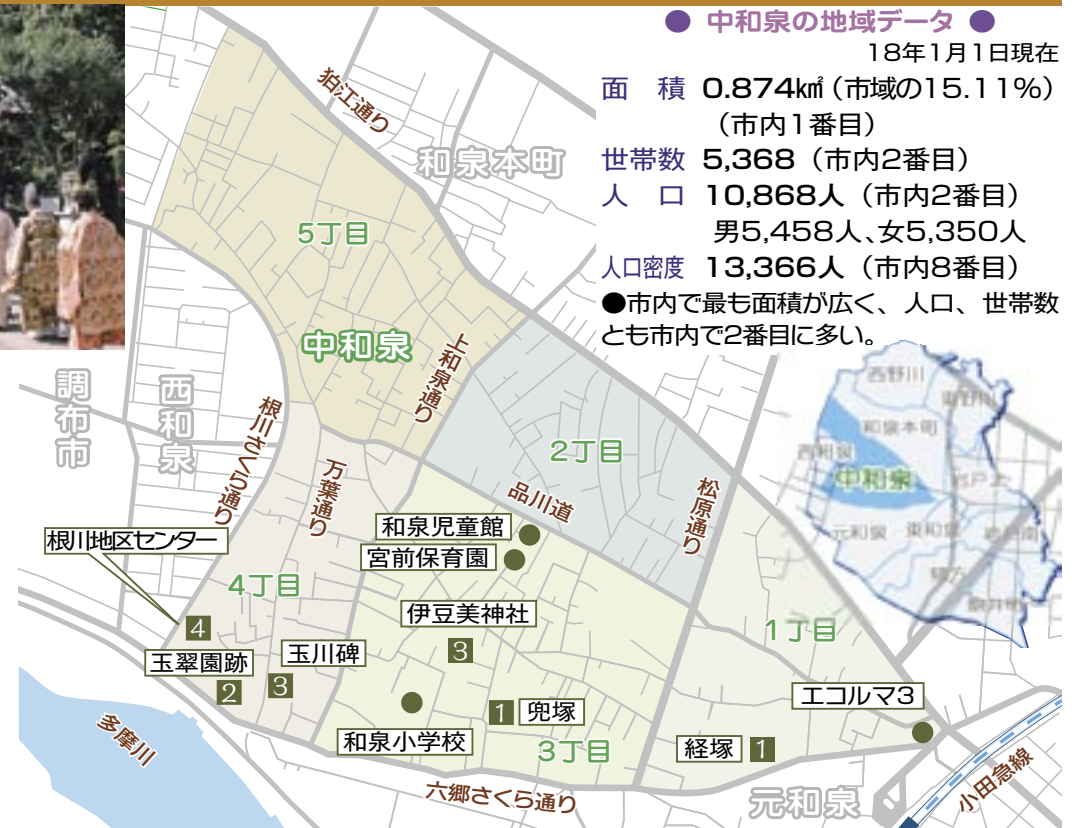


石谷貞清寄進の鳥居

多摩川囃子保存会(大久保栄八会長)は、江戸時代から伝わる多摩川囃子を守るため、後継者の育成などを目的に昭和51(1976)年に再結成された。

はやしは5人で笛と太鼓、鉦を演奏、獅子頭をかぶったり、ひょっとこなどのばか面をつけて舞う踊りがつく。伊豆美神社の祭礼などで親しまれ、61年に市の文化財に指定された。

保存会では、年間を通じて毎週月曜と木曜日の夜に神社の参集殿で、大久保会長、



戸町奉行などを務めた石谷貞清が慶安4(1651)年に立てたもので、市の文化財に指定されている。また、大老・井伊直弼の業績をしのぶ開港記念碑などが、長い歴史を物語る太い木立に囲まれた約3,300㎡の境内にある。

「敬老の日」の前日に催される例大祭には、江戸の里音楽や多摩川囃子が奉納され、

松本雅弘さん、山本幸子さんの指導で中学生から60代まで17人が練習しており、なかには20年以上続けている女性もいる。調子をそろえるため、メンバーはすべての楽器を経験するのが特色。市民まつりや学校の式典などにも出かけて演奏し、活発な活動を行っている。



はやしの練習

境内は多くの人でにぎわいをみせる。

玉川碑(4-14)、水神社(元和泉2-36)も伊豆美神社の境内になっている。碑には「多摩川にさらす手づくりささらさならにそこの児の

4 根川地区センター

根川地区センター(4-16)は、平成3年11月に多摩川住宅の汚水処理場の跡地に建てられた。鉄筋コンクリート造り2階建て、のべ床面積646㎡の建物の1階が地区センターで、134㎡の多目的ホール、24畳敷きの舞台付きの和室、会議室2室、団体活動室、ロビーがあり、2階は学童保育所になっている。

多摩川住宅や周辺の住民の要望で建設され、根川地区センター運営協議会が管理し、市民のコミュニティ活動の拠点として幅広く利用している。これまでに囲碁の入門講座や子どもの工作教室などを開

ここだかなしき」という、多摩川ゆかりの万葉集の東歌が刻んである。

市民団体「万葉名歌・玉川碑に集う会」が、碑のPRや清掃などを行っており、市外からも多くの人が訪れる。



根川地区センター

催、クラブもできている。協議会では、住民の交流を深める場にしたいと、9月には救急救命士の講習会を初めて催し、人気をよんだ。



救命講習会
撮影・林尾愛子さん